学校番号	3015

令和８年度　国語科

教科	国語科	科目	論理国語	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	『標準論理国語』　（第一学習社）						
副教材等	『三訂版学習のポイントが見えるよむナビ現代文１必修編』　（いいずな書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

社会人として必要な国語の基礎学力を向上させるために、以下の点に留意して積極的に学習に励んでください。
・言葉の基本能力を育み、正しい認識と理解のもとに言語生活を営む基礎を作りましょう。
・現代の社会生活に必要な国語の能力を高めるとともに、「表現する力」を身につけましょう。
・作文の基礎知識を習得し、「文章力」の向上をめざしましょう。
・副教材を用いて漢字や慣用句などを学習し、「語彙力」を高めましょう。
・提出物などの期限を守り、社会人として必要な「自己管理能力」身につけましょう。
・定期考査は二回実施します。しっかりと学習計画を立てて臨んでください。

2　学習の到達目標

（１）「知識及び技能」において
・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増やし、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。
（２）「思考・判断・表現」において
・「書くこと」において、選んだ題材に応じて情報を収集・整理して、表現したいことを明確にすることができる。
・「読むこと」において、設定した題材の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めることができる。
（３）「主体的に学習に取り組む態度」において
・言葉の意味や表現の特色を理解し、社会生活の中で活かすために関心・意欲を持って学習する態度を育んでいる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解するとともに、文章の中で使用することを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、文章の内容や構成、表現の仕方を理解し、伝えたいことや感じてもらいたいことを表現する力を養い、自分の考え広げることをしている。	自ら積極的に他者と関わったり、思いを深めたりするなかで、学習活動に関心を持って取り組もうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
前期	論点を明確にしながら要旨を把握し、筆者の提案する「新しい博物学」の意義と可能性を考察する。 ［教材］ 「新しい博物学」	a：文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 b［読］：文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 c：粘り強く段落と段落の関係を押さえ、学習課題に従って本文の構成を捉えようとしている。	ワークシート 提出物 単元テスト 定期考査 振り返りシート	ワークシート 提出物 単元テスト 定期考査	ワークシート 提出物 行動の観察
	根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈し、国や民族によるコミュニケーション文化の違いについて述べた文章の内容を基に、自分の考えを論述する。 ［教材］ 「コミュニケーションの文化」	a：主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 b［書］：多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にしている。 c：日本人のコミュニケーションについての筆者の主張を検証し、そう主張する理由を粘り強く説明しようとしている。	ワークシート 提出物 単元テスト 定期考査	ワークシート 提出物 単元テスト 定期考査	ワークシート 提出物 行動の観察 振り返りシート
	人間と自然との関わりの変化を、自然の社会化という視点から考察した筆者の論理を読み解く。 ［教材］ 「カブトムシから考える里山と物質循環」	a：主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 b［読］：「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 c：粘り強く段落と段落の関係を押さえ、学習課題に従って本文の構成を捉えようとしている。	ワークシート 提出物 単元テスト	ワークシート 提出物 単元テスト	ワークシート 提出物 行動の観察 振り返りシート
	文章の構成や展開、表現のしかたなどについて、自分の考えが的確に伝わるように工夫する方法を学び、効果的な組み立て方や接続のしかたについて理解を深める。 ［教材］ 「構成を考えてレポートを書く」	a：文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 b［書］：個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫している。 c：教科書の例を参考に、資料から適切な情報を取り出し、説明や表現の仕方を工夫して、積極的にレポートの内容を書き直そうとしている。	ワークシート 提出物	ワークシート 提出物 パフォーマンス課題	ワークシート 提出物 行動の観察

前期	主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検証し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する方法を学ぶ。 ［教材］ 「推論とは何か」	a：推論の仕方について理解を深め使用している。 b［読］：文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 c：推論の種類について述べた文章を粘り強く読み、その内容について理解を深めようとしている。	ワークシート 提出物 単元テスト	ワークシート 提出物 単元テスト	ワークシート 提出物 行動の観察 パフォーマンス課題
後期	内容や構成、論理の展開を的確に捉え、ＡＩやロボット技術の現状や日本における捉え方をふまえ、科学技術との向き合い方を考える。 ［教材］ 「科学技術は暴走しているのか」	a：主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 b［読］：人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。 c：本文を粘り強く読み、個別の事例と筆者の主張との関係を理解しようとしている。	ワークシート 提出物 単元テスト 定期考査	ワークシート 提出物 単元テスト 定期考査	ワークシート 提出物 行動の観察 振り返りシート
	文章の内容や解釈を評価するとともに、フェイクニュースの社会的問題を分析的に説明する論展開を把握し、自分に照らして考えを深める。 ［教材］ 「SNS と意見の分極化」	a：主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 b［書］：立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫している。 c：本文での筆者の分析を基に積極的に考えを深め、フェイクニュースの具体例をあげ、その問題点を文章にまとめている。	ワークシート 提出物	ワークシート 提出物 パフォーマンス課題	ワークシート 提出物 行動の観察
	内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握するとともに、論理的文章の構成の型を知り、「経験の教え」について自分に引き付けて考えを深める。 ［教材］ 「経験の教えについて」	a：情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使用している。 b［読］：主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 c：粘り強く段落と段落の関係を押さえ、学習課題に従って本文の構成を捉えようとしている。	ワークシート 提出物 単元テスト	ワークシート 提出物 単元テスト	ワークシート 提出物 行動の観察 振り返りシート

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準［ｂ］について…括弧内には［　書、読　］のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・書くこと　…　（　25　）時間

・読むこと　…　（　45　）時間